

レンズユニット 取扱説明書

形名 NP31ZL

本書は短焦点ズームレンズNP31ZLの仕様とフォーカス調整方法を説明しています。

レンズの取り扱い上の注意事項は、レンズに添付している取扱説明書をご覧ください。

また、プロジェクター本体への取り付け・取り外しや清掃については、プロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。



本書のイラストは実際の製品と多少異なる場合があります。

仕様

投写距離 (単位: m)

スクリーンサイズ	プロジェクター形名		
	NP-PX750UJD	NP-PX700WJD	NP-PX800XJD
40型	0.6 - 0.8	0.7 - 0.8	0.6 - 0.8
50型	0.8 - 1.0	0.8 - 1.1	0.8 - 1.0
60型	1.0 - 1.2	1.0 - 1.3	0.9 - 1.2
80型	1.3 - 1.6	1.4 - 1.7	1.3 - 1.6
100型	1.6 - 2.0	1.7 - 2.1	1.6 - 2.0
120型	2.0 - 2.5	2.1 - 2.6	1.9 - 2.4
150型	2.5 - 3.1	2.6 - 3.2	2.4 - 3.0
200型	3.3 - 4.1	3.5 - 4.3	3.2 - 4.0
240型	4.0 - 5.0	4.2 - 5.2	3.9 - 4.9
300型	5.0 - 6.2	5.2 - 6.5	4.8 - 6.1
400型	6.6 - 8.3	7.0 - 8.7	6.5 - 8.1
450型	7.5 - 9.4	7.8 - 9.8	7.3 - 9.1
500型	8.3 - 10.4	8.7 - 10.9	8.1 - 10.2



画面サイズからの投写距離(m)計算法

NP-PX750UJD: $H \times 0.75 \sim H \times 0.93$: 0.62m(最小) ~ 10.41m(最大)

NP-PX700WJD: $H \times 0.79 \sim H \times 0.98$: 0.65m(最小) ~ 10.91m(最大)

NP-PX800XJD: $H \times 0.77 \sim H \times 0.97$: 0.61m(最小) ~ 10.16m(最大)

※ H(Horizontal)はスクリーン幅の寸法です。

※ 簡易計算式のため数%の誤差があります。

レンズシフト範囲

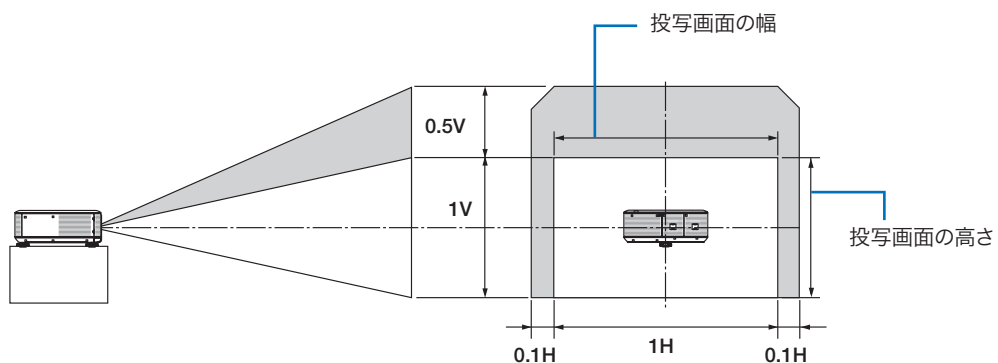
プロジェクター本体またはリモコンのボタン操作により、次の範囲でレンズシフトができます。

記号の意味: Vは垂直(投写画面の高さ)、Hは水平(投写画面の幅)を表しています。

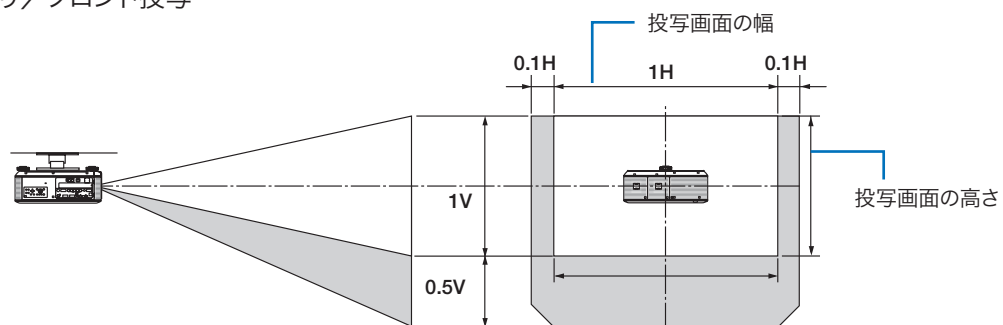
調整についてはプロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。

NP-PX750UJD/NP-PX700WJD

デスク/フロント投写

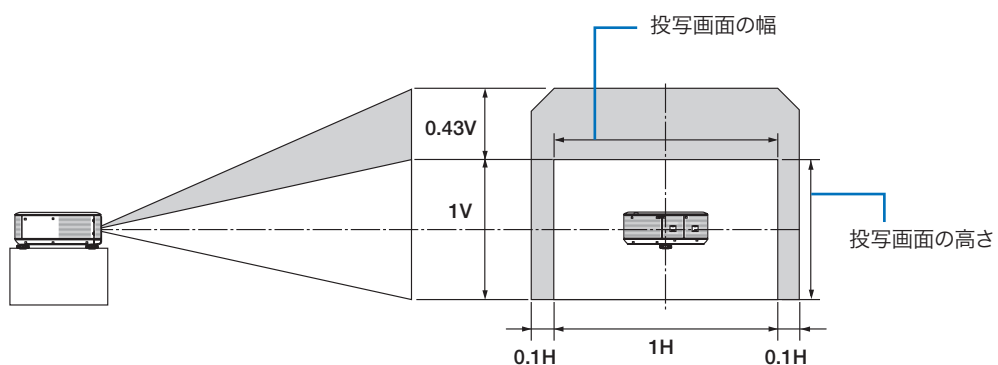


天吊り/フロント投写

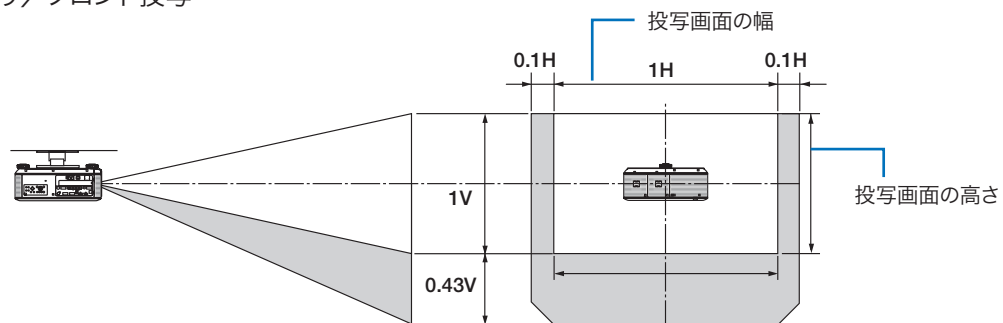


NP-PX800XJD

デスク/フロント投写



天吊り/フロント投写



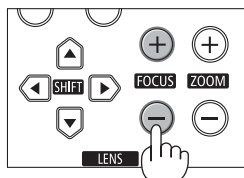
投写画面のフォーカス合わせ

1. 光軸付近のフォーカスを合わせる。<電動フォーカス>

図はレンズシフトを上方向へ移動しているときの例です。光軸は画面の下側にあります。

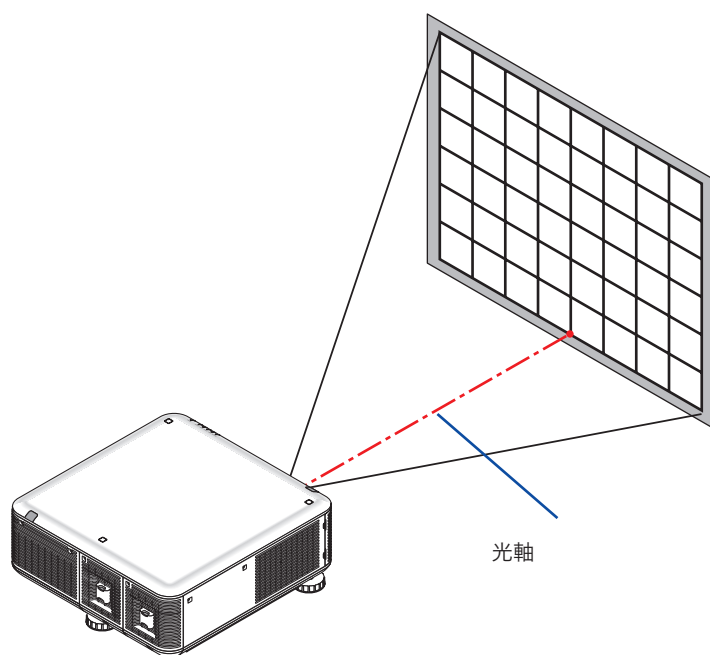
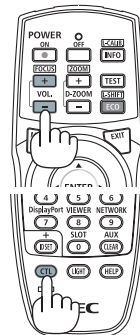
プロジェクター本体で調整する

[FOCUS+/-]ボタンを押します。

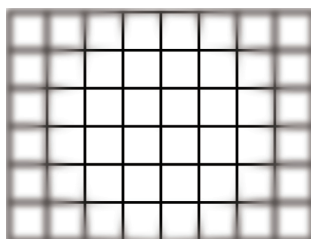


リモコンで調整する

[CTL] ボタンを押したまま[VOL./FOCUS +/−]ボタンを押します。



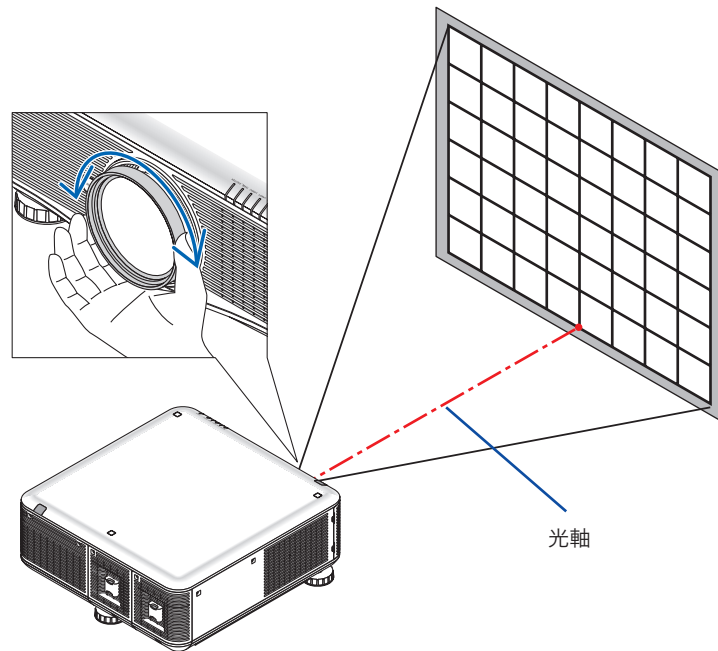
※ レンズシフトの位置がセンターのときは、光軸は画面の中心にあるので、画面中央のフォーカスを合わせます。



2. 画面周辺のフォーカスを合わせる。<手動フォーカス>

周辺フォーカスリングを左右に回します。

このとき、1で調整した光軸付近のフォーカスは変わりません。



これで、画面全体のフォーカス合わせが終わりました。

・ズーム調整についてはプロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。



NP31ZLは、レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値をプロジェクター本体に保存するレンズメモリ機能に対応しています。

ただし、調整値を保存した後に、レンズの周辺フォーカスリング(下記の図で示した部分)を触って動かしてしまうと、レンズメモリを呼び出しても正しく調整されません。

プロジェクター本体からレンズユニットを取り外して再度取り付けたときは、レンズメモリを呼び出した後、上記手順の2にしたがって、画面周辺のフォーカス合わせをやりなおしてください。

